

自衛隊平塚七夕まつり懇親会で連携強化



広報官の紹介



最後に全員で同期の桜を合唱

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 林1陸尉）は、7月5日（土）、平塚自衛官募集相談員会、公益社団法人隊友会神奈川県隊友会湘南支部及び公益社団法人全国自衛隊父兄会連合会西湘地区会が主催する「自衛隊平塚七夕祭り懇親会」を支援し、自衛隊に対する支援協力態勢の強化及び募集・防衛基盤の拡充を図った。

この懇親会は、昭和62年に始まり今回で27回目となる恒例行事で、全国的に有名な平塚七夕まつりの名を借りている。今年は、あいにくの雨模様であったが、来賓及び県内所在の自衛隊関係者等、約100名が集まり盛大に実施された。最後は、全員で円陣を組み、バンド演奏の下、同期の桜を合唱して終了した。

平塚地域事務所は、「引き続き、協力団体との連携を深め、自衛隊の活動を広報するとともに、募集に繋がる人間関係の構築に尽力していく」としている。

平塚中等教育学校の「総合的な学習の時間」を支援



ブリーフィングを受ける生徒達



潜水艦の前で記念撮影

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 林1陸尉）は、7月10日（木）、海上自衛隊横須賀基地において実施された、平塚中等教育学校の「総合的な学習の時間」を支援した。

この「総合的な学習の時間」には、3年生20名が参加し、横須賀基地広報によるブリーフィング、護衛艦「はたかぜ」の見学、艦長との懇談及び体験喫食等を行った。また、滅多に見ることのできない潜水艦を間近で見ることができ、学生たちはとても喜んでいった。

平塚地域事務所は、「今後も、総合的な学習の時間について担当地区内のより多くの学校に知ってもらい、将来的に自衛官募集につなげていきたい」としている。